

丹後学園だより

令和8年7月24日 NO.8 丹後学園事務局 75-0126

学園教育目標

夢と希望と創造性あふれる豊かな心を持ち、
未来に向けて主体的に生きる子どもの育成

1 学期が終わりました

7月17日、小・中学校では終業式があり、1学期を終えることができました。丹後学園では、1学期を振り返ると、園、小・中学校のつながりを大切にした小中連絡会、保幼小連絡会、こども園が練習を参観した丹後小学校の運動会、丹後小学校6年生が参観した丹後中学校の合唱祭、授業改善のための授業研究会、こども園と中学校の避難訓練及び交流、そして、地域の方々と一緒に取り組んだ挨拶運動など多くの取組を行いました。子どもたちは、それぞれの取組に対して一生懸命に取り組むことができ、達成感をもつことができました。

皆様におかれましては、丹後学園の教育に対しましてご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。温かいご支援が、子どもたちの未来を明るく照らすことに繋がります。今後とも地域との連携を深めていきます。これからも丹後学園の教育に対しましてご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

小・中学校は、8月31日まで夏季休業となります。これから暑い日が続く予報が出されていますが、ご自愛いただきますようお願い申し上げます。

丹後中学校 総合体育大会

7月11日、12日と第37回丹後ブロック中学校総合体育大会が行われました。中学3年生にとっては、最後の体育大会になり、2年半の総まとめになりました。

大会前に壮行会を行い、小谷校長から激励の言葉がありました。

「『主体性』、『協働』、『挑戦』を胸に悔いの残らない戦いにしてほしい。

主体性：コートや舞台に立ったら、先生や先輩の指示を待つだけでなく、『自分が今、チームのために何ができるか』を自分で考え、考え、考え、判断し、行動してほしい。

協 働：どんなに苦しい局面でも、隣を見れば同じ汗を流してきた仲間がいる。他の誰でもない、そばにいるチームメイトの頑張りを一番よくわかっているのが、部活動の仲間である。試合に出る人も、応援で声をからす人も、全員が大事な戦力である。仲間を信じ、心を一つに最高の『協働』で最大のパフォーマンスを発揮してほしい。

挑 戦：相手が強くても、緊張で足がすくみそうになっても、守りに入らないでほしい。これまで苦しい練習に耐えてきたのは、この大会で『挑戦』するためである。

果敢な攻めの姿勢こそが、勝利を引き寄せ、皆さんを大きく成長させる。





『本気』の挑戦は、見る人の心を震わせる。結果はどうであれ、自分たちがやってきたことに自信を持ち、1秒先、1プレー先に

すべてのエネルギーを注ぎ込んでほしい。先生たち、皆さんの家族は、皆さんを全力で応援している。」

中学生は、大変暑い日になりましたが、3年生を中心にして一生懸命に競技に取り組んでいました。

家庭学習頑張り週間

夏季休業中の学習に発展させてくれることを期待しています

小・中学校では、6月19日～6月25日まで、学園の取組として「家庭学習」の取組を行いました。

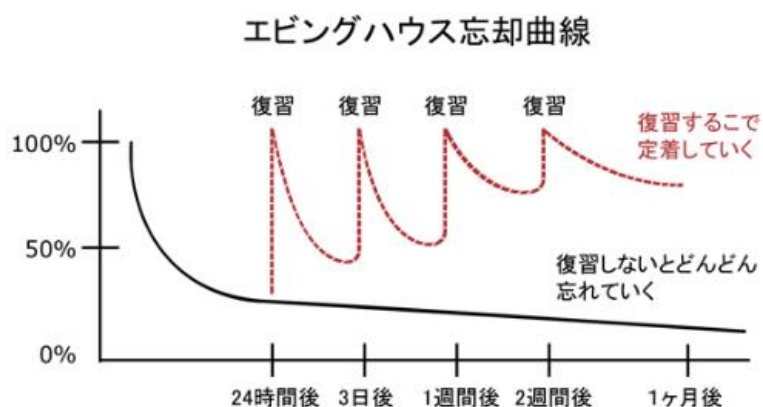
ね ら い

- ① 丹後中学校区一斉に取り組むことで、児童・生徒の家庭学習に対する意欲を高める。
- ② 自ら計画して学習に向かう体験を重ねることで、将来的に自律して学ぶ子どもを育てる。
- ③ ICTを活用した学習方法を学ぶことで、家庭学習に取り入れようとする意欲を高める。

家庭学習は、毎日することが大切ですが、特にこの期間に意識して取り組み、学力充実にねらっています。

具体的には、小学校では、学習の様子を点検表などに記入し、学習習慣や生活リズムを見直す取組を行いました。中学校では、自ら立てた学習計画をもとに学習や生活リズムを見直す取組を行いました。

保護者の皆様におかれましては、集中して学習できる環境づくり、声掛け、励ましにご協力をいただきありがとうございました。



学校で学習した内容については、時間がたてば忘れてしまいます。しかし、復習することで学習内容が定着します。このことから家庭学習は必要になります。

家庭学習を習慣づけて、学力の充実を図ってくださることを期待しています。

令和8年度丹後学校協働活動推進研修会に参加してきました

7月3日、与謝野町立生涯学習 知遊館において研修会があり、丹後学園学園運営協議会長の下田様と学園コーディネーターの梅田が参加してきました。

岡山県教育庁生涯学習課の安田隆人様から演題「連携・協働の実現から、子どもたちの育ちを支える地域学校協働活動の充実へ」について講演を聞かいただきました。その後、参加者でワークショップを行い、子どもたちの育ちを支える地域学校協働活動について協議を行いました。